

化学メーカーを物流と製品仕上げて支えるプロフェッショナル企業

## 有限会社 ユーエヌケーヤードサービス

〒500-8386 岐阜市藪田西2-1-1 TEL.058-271-5512  
<https://www.ube-exsymo.co.jp/uys/>

設立 ● 2000(平成12)年4月  
代表者 ● 代表取締役 渡邊 和憲  
従業員数 ● 43名(男34名・女9名)

光通信資材やプラスチック製段ボール、FRP樹脂製のパイプなどを生産する宇部エクシモ岐阜工場の物流業務を担う同社の100%子会社であるユーエヌケーヤードサービス。2000年の設立以降、宇部エクシモの物流合理化に向け、大きな役割を担っている。

こまかな気配りや  
声掛けの積み重ねが  
健康と笑顔、  
やる気を生み出す



- 新型コロナ対策のため、昼食時間を20分ずつのシフト制に
- 特定健診・特定保健指導、ストレスチェックは3年連続で受診率100%
- 健康に関する目標の達成で賞金がもらえる「どんとこい!ヘルスアップ」を開始



特定健診や特定保健指導、ストレスチェックにおいて、3年前から連続して受診率・実施率100%を達成しているユーエヌケーヤードサービス。新型コロナウイルス対策のために、工場内で作られている製品を飛沫防止のパーテーションに転用して随所に設置するなどの工夫を凝らし、従業員が健康で生き生きと働ける仕組みづくりを進めています。



## 食堂の机を区切り 1人ずつのスペースを確立

現在は2人ずつしか使用することができません。

宇部エクスシモ岐阜工場内にある、同社とユーエヌケーヤードサービスの従業員が利用する社員食堂に入ると、1人ずつのスペースが、パーテーションで仕切られた机がずらりと並ぶ光景が目に見え、びっくりできます。新型コロナウイルス対策のために昨年に秋に始めた取り組みで、本来6人が座れる机を、岐阜工場で作られたプラスチック製段ボールで区切っていることから、



全ての机を合わせても36人しか

座れないため、昼食をとる時間は、午前11時から午後2時までを20分ずつに区切ったシフト制にしました。これまで自宅から弁当などを持参している従業員は、それぞれの職場の休憩室で食べることも可能でしたが、万が一従業員の中から感染者が出た場合、その場にいるすべての人が濃厚接触者となり、仕事を休まなければならなくなってしまうため、全ての従業員を昼食のシフトに組み込み、食堂でのみ食べる仕組みとしました。

## 食堂では 朝昼夕の3食提供

もともと岐阜工場には、カフェテリア方式の食堂がなく、自宅から弁当を持ってくるのが難しい従業員は、給食センターから運ばれてくる弁当を食べていました。「温かいご飯が食べた」と複数種類からその時の気分に合わせて選べたいなどの意見が多く出たことから、食堂をリニューアルすることに

なり、2017年3月に現在の形となりました。

昼食時のメニューは日替わり定食2種類と麺類などで、献立表にはカロリーと塩分量を明記。栄養バランスの取れた日替わり定食よりも、もっとヘルシーなものをという声が上がりが、1週間単位で、野菜を250g以上使った蒸し料理などのヘルシーメニューを提供するごときも。ヘルシーメニューがあるときは欠かさず選び、減量に励む従業員もいるほどです。

岐阜工場は24時間稼働している



メニュー	カロリー	塩分量
定食A	450kcal	1.5g
定食B	480kcal	1.8g
麺類	520kcal	2.0g
...	...	...



ため、食堂では朝食と夕食も提供。日曜の朝を除き、食堂は土日も開いており、健康的な食生活の継続と弁当を作る家族の負担減につながっています。

## 健診の受診日時指定で受け忘れ防止

健診の実施に際しては、5年ほど前までは検診車が岐阜工場に来る4日間のうち、それぞれが都合の良い日に受診する方法を取っていました。受け忘れてしまったり、混雑する時間に当たってしまったり、業務に支障が出る人などがいたため、あらかじめ管理課が受診日時を割り振る方法に変更しました。割り振ったことで、健診時間になっても働いている人に周囲が声

を掛けることができ、受け忘れを防ぐことができるようになりました。特定保健指導も同様の方法を取っており、ストレスチェックは健診に合わせて行っているため、全ての人が受けることができています。

血圧、血中脂質検査、血糖検査、肥満度の4項目全てで異常の所見があった場合は受診することができ、労災保険二次健康診断において、3項目の該当者についても、産業医の判断で受診するよう連絡。年休の取得を促し、医療機関に行くよう働きかけていることから、受診率は100%となっています。

## 健康づくりの目標を周囲に宣言

安全衛生委員会では、健康づくりに関して新たな取り組みを始めようと、健康診断の結果を基に目標を立ててエン

トリーし、1年後の健康診断で



保のためにも、

達成できた場合に賞金がもらえる「どんどんこいーヘルスアップ」を20年7月に開始。加工課の栗山豊さんは健康診断の結果、BMIが肥満の判定を受けた上、子どもにも「太ったんじゃない」と言われたことにショックを受け、毎日ランニングすることを決意。その矢先にどんどんこいーヘルスアップの取り組みが始まったため、BMIを標準の範囲内にすることを宣言して参加しました。「エントリーがモチベーションアップにつながり、雨の日でも毎朝4kmのランニングを続けています。現段階で、前回の健康診断の時と比べて5%の減量に成功しています。BMIはすでに『標準』になりましたが、習慣化することができたので、これからも続けていきたい」と話しています。

健康経営への取り組みについて管理課の永田雄一課長は「当社は親会社の業務のみを行っていることから知名度

充実した取り組みを行い、PRしていくことが不可欠」と話します。棚橋正幸副社長は、「企業は人が大事。生産性の維持向上、安全の確保のため、これからも続けていきたい」と話しています。

Pick up!

2020年10月から、就業時間内禁煙制度がスタートしました。制度導入後に喫煙者からヒアリングをしたところ、平均して一日あたりの本数が3割減少していることがわかりました。管理課の板倉功明さんは「本当は全てを禁止したいが、ストレスにつながるケースもあるため、まずは本数を減らしてもらう方法を取りました。今後も負担をかけすぎることなく、禁煙をサポートしていきたい」と話します。

